



西麗会会報



埼玉県立浦和西高等学校同窓会



2020

会長あいさつ

西麗会会長 大熊 幸雄 (昭和41年卒)



西麗会会員の皆さん、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

会長に就任して以来、西麗会の総会、理事会、理事研修旅行の出席は当然として、学校行事である西高文化祭の文化講演会、進路指導の未来の種、西高づくり懇話会(学校評価懇話会)、卒業式、入学式へ出席する機会をいただきました。卒業式には半世紀を超えての出席となりましたが、卒業生の並び方、呼ばれる順、服装などが大きく様変わりしたと感じました。卒業生の皆さんはしっかりと、厳粛な中、感動を覚えました。

11月には、野球漫画「おおきく振りかぶって」の作者で平成元年卒のひぐちアサさんの原画展を見に、さいたま市立漫画会館に行つてまいりました。平成7年卒の松本裕之学芸員に説明いただき、滅多に見られない原画の魅力を楽しんできました。なお、「おおきく振りかぶって」の新聞が、出版されております。

さて、昨年10月から毎土曜日、朝日新聞の埼玉版に「青春スクロール 母校群像記」が11回に渡つて連載されました。各界で活躍する卒業生(西麗会会員)の思い出を通して西高の素晴らしさを紹介するもので、サッカー選手、漫画家、声優、文筆家、音楽家、映像関係者、研究者など、今まで知らなかった卒業生の活躍を拝読し心強く思います。第4回高橋千剣破さんの項では、担任であった吉田博美先生(大将・ちんころさん)のエピソードが紹介されていますが、吉田先生は西高らしい本当にいい先生でした。晩年はホタルの生育についてメールのやり取りをしていたので、特に印象に残っています。この連載が西高への関心を高めることになれば嬉しく思います。

結びになりますが、西麗会の大切な収入源である「ご寄付」について、ご協力のほど、よろしく、お願い申し上げます。

表紙のことば

あぶら火の光に見ゆる

わが獲かつらさ百合の花の

笑えまはしきかも



カット 木村みづほ (昭和32年卒)

「燈火の光に見えるわたしの縷いとの、さ百合の

花の、見るからにほゝ笑えましいことよ」

七四九年五月九日、越中国守家持が部下の館でひらかれた宴に招かれた折に、主人の趣向おもむきで出された百合の花縷いと(髪かみの飾り)を題材に詠んだ歌である。

万葉集に登場する百合はヤマユリかサユリと思われる。ヤマユリは近畿地方以北に、サユリは中部地方以西に自生する。

縷いととは髪飾りのことなので、大きく豪華なヤマユリの花ではなく、繊細可憐なサユリを髪に付けたと想像したい。越中国あたりには両方の百合が自生しているので、案外、白く大きなヤマユリが燈火の中で映えていたのかもしれない。ゆりの語源は「揺り」と言われるのもおもしろい。

表紙の写真はヤマユリ。群馬県嬬恋村の林の中で、風に揺られるたびに甘く濃厚な香りを漂わせていた。

歌の解釈は『万葉の庭―散策の栞―』より



▲西高3年生 旧文芸・新聞部室前にて

私と西高 — 私の好きな一句 —

甲斐よしあき

学問のさびしさに堪へ炭をつぐ

山口 誓子

定年退職を迎えた頃から、私は、これまで以上に友人たちの大切さに気が、友人たちとの付き合いを大切にしてきた。中でも、私の小、中、高校時代の友人たちである。彼、彼女らは、私の出身地の埼玉県や神奈川県に住んでいるから、会えるのは年一回である。仕事の合間を縫って私が、埼玉県に戻るのを心待ちにしてくれている。これらの友人たちが、なぜ大切かと言つと、

中学や高校時代に、夢や希望やこれからの人生を熱く語り合ってきた人たちであるからだ。とりわけ、高校時代の友人たちとの付き合いは、何故か切ない思い出と重なりあつて思い出される。山口誓子の一句。私も、一時期、学問への道を志していたことがあつた。そこで選んだのが、関西の大学への進学であつた。そんな私の我が儘を文句一つ言わず母は、よく許してくれたもの

のだ。今更ながら、そう思う。ほとんど知り合いのいない京都住まいの気軽さと淋しさ。孤独。さらに、学問を志す以上、まず座学での読書である。読書を通じての新しい世界の発見は、心弾むものであつたが、学問の対象としてのカント、ヘーゲル、フオイエルバッハ、初期のマルクスという人たちの哲学は手強いもの

で、自分の非力さを思い知らされるばかりであつた。数ある山口誓子の名句の中から、掲出の一句を選んだのは、私のそういう体験と重なりあつたからだ。麗しき春の七曜またはじまる 誓子

私の元に送られてきた「同窓会新聞」。その紙面に、私の写真が掲載され、「甲斐、戻ってこい！ 待っているぞ！」の呼びかけが書かれていたのである。

学問をわが生業とする夢は挫折に終わり、私は、大阪府の教員採用試験に合格。中学校の国語科教諭としての仕事に就く。そして、四十代半ばに俳句と出合うのであるが、全く新しい文学的世界との出会いは、少し大袈裟に言えば心躍るものであつた。「麗しき春の七曜」などという言葉や表現も、俳句をしなければ、決して出合うことになかつたものである。ここまで書いて、私はまだ本当のことを書いていないことに気付く。私が、関西の大学を選んだには、もう一つの理由があつた。それは、高校時代のことを「忘れるため」であつた。何故か。私の周りには、個性豊かな、優秀な同級生たちがたくさんいた。そういう人たちと共にやつてゆくため、負けず嫌いで、自尊心ばかり強い私は、背伸びびだらけの三年間を送ってしまった。高校時代私が愛読した石川啄木の歌の一節を借りれば、「友がみな我より偉く見ゆる」三年間であつた。その背伸びが恥ずかしく、厭味な奴と私は、級友たちから嫌われていると信じていた。私の目論見は見事に成功し、高校時代のことを私は余り憶えていない。ところが、六十歳の還暦を過ぎた五年後、



▲定例会にて(中央が筆者)

プロフィール

一九六七年(昭和四二年)卒。三年五組。前述の通り在学中のことは余り覚えていない。文化祭で故立川談志さんの漫談を聞いたこと、先輩の吹くサクスがカッコよかったことを覚えている。俳人。茨木市俳句協会副会長兼事務局長。著書『句集』『抱卵』『転生』

あの友
この友



題字・カット
山本鐘互
(昭和40年卒)

鎌木美恵子(昭和14年卒) 岡山市

浦和より、当地岡山へ住んで72年になりました。気候が温暖なので、魚、果物が豊富で美味しいので感謝して暮らしております。

(娘代筆)

石川(金子)佐和子(昭和20年卒) 久喜市

寄付金欄で拝見した同窓生に電話しました。卒業以来七十数年、懐かしい話に花が咲きました。勤労働員の思い出は悲しい出来事！長く平和が続きますよう祈ります。

井原(権野)幸子(昭和27年卒) さいたま市

年一度送付される会報で友の近況知るは嬉しも 幸子

原 恵行(昭和30年卒) さいたま市

八十二を過ぎて水泳部の皇泳会新聞に小篇の半生記を寄稿しています。別所時代を振り返る事は歳を取ったという事でしょう。光陰矢の如しですね。

加藤(矢部)正納(昭和30年卒) 上尾市

私りそな銀行サポートアドバイザー、業務改革・改善、運営、資産運用etc提案、具体的詳細に明記、又感謝状、平成31年4月拝受。平成29年4月平成26年4月にも拝受。

荒井利尚(昭和31年卒) さいたま市

四年後に一万円札、五千円札、千円札が新しくなる。肖像もデザインも変わるそうだから興味がある。だが、こちらは四年後は八十年代半ば。果たして新札を拝めるか。ましてや使うことが出来るか。複雑な気持ちだ。

山根祥二(昭和31年卒) 戸田市

多忙でした、「鐘撞堂」「庫裡」「本堂」建立自費出版「写真集」「方丈記」「妙厳寺抄」、住職五十年で管長より表彰。今は孫五人、息子に住職を譲り東堂となり、時間に余裕があり幸です。

七澤(八木橋)敏子(昭和33年卒) 伊賀市

入学した頃の西高は、週休二日制、私服登校有り、下駄履き登校の柔道部の人もいて、今でも乾いた下駄の音を懐かしく思い出します。

阿川英子(昭和34年卒) 横浜市

大学卒業後、そのまま母校に就職し、健康を与えられて、44年間奉職しました。西高在学中に、生徒会活動に参加出来た事を、今でも時々、思い出しています。

袖山實右(昭和34年卒) 札幌市

歳より北海道移住5年目。第2の人生、上智大で始めたアイスホッケー生涯現役今年で60年目。現在札幌シニア所属で全日本シニア選手権大会目標で頑張っています。

岸 信介(昭和35年卒) 品川区

西高の合唱部の時より、ずっと合唱生活を送っています。そして今、全日本合唱連盟理事長として頑張っています。

八木 正(昭和35年卒) 大町市

春ですね。薪作り作業が始まりました。丸太を割り、積み上げて、冬には早速燃

会員訃報

心よりお悔やみ申し上げます。

大塚(伊佐山)てる(昭和13年卒)さいたま市

母、大塚てる(旧姓伊佐山)は、平成31年1月5日97才にて永眠いたしました。今までありがとうございました。

長女

川島純子(昭和23年卒) 蕨市

昨年七月に永眠いたしました。

谷口正子(昭和25年卒) さいたま市

谷口正子は去る二月十六日、死去しました。 夫 谷口 侑

友野(細野)操(昭和27年卒) さいたま市

生前お世話に相成り、ありがとうございました。

大萱生(守谷)淑(昭和27年卒) さいたま市

大萱生(旧姓守谷)淑は、平成三十一年一月二十九日、八十六歳で逝去しました。

高橋(大塚)喜彦(昭和30年卒) さいたま市

高橋喜彦は去年11月19日他界致しました。今までお世話になりました。妻 高橋敏江 ございました。

勝谷 孝(昭和31年卒) 府中市

二〇一九年一月二日に病気のため亡くなりました。八十二才でした。皆々様には、大変お世話になりました。妻 勝谷寛子

妻 勝谷寛子

鵜澤(荻野)美夜(昭和27年卒) 横浜市
山吹の会報嬉しく拝見しました。これから東北新幹線はやぶさに乗り「みちのくの三大桜祭弘前城―北上川―角館の行程で山吹桜新緑を楽しみます。日々是好日也。

やします。「二年物が良く燃える」と聞きますが、中々体が追いつきません。

吉村克昌(昭和35年卒) さいたま市

令和の時代をがんばろう!!

齋藤庸夫(昭和36年卒) 蓮田市

埼玉地理学会の一員として県内各地の地理的事象を年二回巡検し、楽しんでいきます。今は、明治四十三年の利根川破堤妻沼)による大洪水の記録を調査しています。

島宗俊郎(昭和36年卒) 名古屋市

後期高齢者の年齢に突入しましたが、大学院後期博士課程でインバウンド観光について勉強中です。

高橋千剣破(昭和36年卒) さいたま市

歴史と自然についての文筆を続けています。月刊誌2本連載ほか、執筆活動と講演活動で、結構忙しい日々を送っています。

林野 宏(昭和36年卒) 文京区

十九年間続けた社長業を後継者にゆずりました。仕事と遊びと学ぶことを融合することに成功してきたのは、勉強があまり好きでない西高の誇りだと思えます。

後藤鉄四郎(昭和39年卒) 蓮田市

長く働いた会社も区切りをつけました。今は母校(大学)の仕事をしています。忙しく何も出来ません。これから求められる人材は西高生だと思えます。

佐野和義(昭和39年卒) さいたま市

大学同窓会の仕事を少々あとは大好きな映画と読書の日々。本棚にある名作を読み、蒐めておいた名画を観るとセピア色の昔が色づいてきます。しめは美味しいお酒。

根本明徳(昭和39年卒) 水戸市

週二日の剣道、毎日の尺八の稽古、合間に釣行と趣味三昧の毎日です。昨年10月に剣道の指導でペルーへ行き、弟子の案内でマチュピチュを訪問してきました。

山崎茂樹(昭和39年卒) 春日部市

いつも会報ありがとうございます。コンビニでアルバイトをはじめ6年になります。後輩の訃報におどろいています。

野口哲夫(昭和40年卒) さいたま市

平成三〇年四月より、さいたま市南区大谷口地区に整形外科と小児科の診療所を開設いたしました。当院は川口市との市境に隣接しております。どうぞ御利用ください。

中塚(横山)俊子(昭和40年卒) 町田市

駅近で、便の良い所へ、越しました。ベランダから沢山の桜が見渡せます。

小鳥達 集ひて蜜吸ひ我桜餅

共に楽しむ 春の昼下り

鶴澤利雄(昭和41年卒) 習志野市

昨春秋に人工股関節への手術を行いました。今ではスッカリ元に戻り、ゴルフや

釣りに興じております。もうしばらく現役並に頑張ろうと思っております。71才です。

佐竹清(昭和41年卒) さいたま市

一年二年のときは共学でしたが、三年は受験や就職でクラス編成がすっかり代わりました。同窓会は最後までこのまま。親しい友人のできる学校が望ましいのです。

増子啓三(昭和41年卒) 青梅市

今年の4月、国連高齢化に関する会議に参加するため、ニューヨークの国連本部を訪問。NGOとして、高齢者人権条約を国連総会に制定させるためです。今後の動向にご注目を!!

西村(小島)真佐代(昭和42年卒)さいたま市

昨春秋に古希の集いが開催され久しぶりの懐かしい顔に50年前の当時を思い出し、気持ちだけでも若返った一日でした。実行委員の皆様本当に感謝申し上げます。

吉沢一男(昭和42年卒) 久喜市

妻と家族のおかげで古希を迎えました。これからは妻と二人で一人前の生活です。

岡本孝夫(昭和43年卒) 横浜市

会報毎年ありがとうございます。二〇二〇年で古希、二度目の東京オリンピックです。六五歳で仕事は卒業、月数日のボランティアとゴルフと旅行に勤んでいます。

佐藤(岡田)静子(昭和35年卒) さいたま市

平成三十年三月十日七十六才にて永眠しました。生前のご交誼ありがとうございました。夫 光雄

朝倉(中村)弘子(昭和35年卒) さいたま市

妻、弘子は昨年八月に間質性肺炎の為、永い永い旅に出ました。毎年同窓会楽しみにして居ました。今後益々の御発展とみなさま方の御健勝をお祈り致します。

竹本(清宮)晴子(昭和36年卒) さいたま市

妻、竹本晴子は平成25年6月28日に死去しております。夫 竹本 修

小井川和代(昭和37年卒) 上尾市

母(和代)は死去いたしました。息子 堅一

和氣(岩淵)信子(昭和38年卒) 熊谷市

和氣信子儀病氣療養中のところ、去る二月十七日永眠いたしました。ここに生前のご厚誼について深く御礼申し上げます。和氣利彰

岡本 功(昭和38年卒) さいたま市

平成29年10月に亡くなりました。生前のご厚情に感謝申し上げます。長女

飯田早苗(昭和40年卒) 習志野市

飯田早苗は昨年4月20日亡くなりました。夫 飯田貞夫

永田喜雄(昭和43年卒) さいたま市

丈夫が売りの私ですが、69才にてダウン、同期会のゴルフに出られず、只今寄せワンのイメーヅトレーニング中、皆さん待っていて下さい。 ナガタ ヨシオ

小倉清貴(昭和44年卒) 川崎市

3月に福祉の学校を卒業して現在福祉施設で仕事を始めました。

桂(渡邊)篤子(昭和44年卒) 座間市

五十数年振りの高一のクラス会、一瞬にして昔にタイムスリップ、とても楽しい時間を過ごさせて頂きました。幹事のお二人ありがとうございました。

陳野敏弘(昭和45年卒) 市川市

女房をなくし七回忌が過ぎ、西高に行く機会を得た。大シヨックだったのは私が所属した大好きな陸上部がなくなつたこと。元陸上部の人は知っていたのか？

石松千春(昭和46年卒) 江東区

私達四十六年卒組も毎年十一月に学年同窓会を開いております。還暦から早や六回目を昨年十一月に開催し、今年も幹事四名を中心に集合予定です。

岩城真幸(昭和47年卒) 北広島市

昨年は新元号の年であり、本年はオリンピッククイヤー!!生きている間に日本で2回も見られるなんてラッキーです。

小沢(小林)紀美子(昭和47年卒) 越谷市

中学校教員リタイア後、趣味三昧の日々。

国立劇場で、江戸城のお部屋さまになりきって日舞を披露。大舞台の魅力には、はまってしまいました。「次へ」に挑戦です。

宮田 薫(昭和47年卒) さいたま市

毎日のウォーキングで元気にしております。

宇田川(山田)成子(昭和47年卒) 北本市

吉住先生のお話とても楽しかったです。去年11月に12日間家族と離れて雲南に行き、4223mの轎子雪山に登つたり、シャングリラの街を歩いたりしてきました。

塩見(吉沢)幸子(昭和47年卒) 三鷹市

茶道部で共に西高時代を過ごした(旧)町田さん・高橋さんと西麗会総会に参加しました。会報で顧問の悴田先生の訃報に接し先生の西高愛と偉大さを改めて感じた一日でした。

松岡 毅(錫培)(昭和48年卒) 藤沢市

令和元年に高齢者の仲間入り、年金満額受給します。記念と平成へのお礼に同級生仲間と葉山御用邸公園散策とクルージング小旅行して来ました。まだまだ皆さん若いです (^_^)

高橋秀樹(昭和49年卒) 所沢市

卒業して四十五年、クラス会を開催しました。担任の楚山先生をお迎えし、十五名の同級生が集いました。在学時のことを話題に楽しいひと時を過ごしました。

大崎栄一(昭和50年卒) さいたま市

三年生時のクラスのメンバーで長年にわたり毎年、新年会を行っています。仕事、結婚、子の成長、結婚、親の介護、自身の健康と老後と話題も変遷してきました。

小島健一(昭和50年卒) 大阪市北区

午後4時、サッカー部のシュート練習が始まる。無数のボールがプールの中に飛び込んで来る。スパイクを脱ぎ、一礼してボールを受け取りに来る部員の中にあの人も(?)

岩田(森山)由美子(昭和50年卒) 所沢市

相変わらず三味線・アルフィー・ウオーキングと趣味三昧の日々です。最近なんちゃって自営業の服飾リフォームが忙しくなってきました。

リタイアして五年、娘と孫娘にこき使われつつ、趣味の裁縫を生かし、有償ボランティア的に洋服のリフォームをしたり、地域の旅行、アルフィーライブ etc やつてます。

榎田(赤羽根)敬子(昭和51年卒) 神戸市

昨年四月に人工股関節置換手術を受けました。人生の上もない痛みを経験し、二ヶ月弱入院しました。四月二十九日は我が教室の発表会、労わりながら頑張りたいと思います。

石川(大熊)理恵(昭和51年卒) 板橋区

昨年春から、実家の父を介護する為に三

岩崎 潔(昭和42年卒) 川口市

いつもお世話になっております。昨年五月三日に主人の潔が亡くなりました。今までありがとうございました。

真田 安(昭和42年卒) さいたま市

夫、真田安は平成三十一年三月二十二日に亡くなりました。生前の皆様のご厚情に感謝申し上げます。妻

小宮英夫(昭和44年卒) 広島市

夫 小宮英夫は平成30年2月2日67歳にて逝去いたしました。皆様のご芳情を心より感謝申し上げます。ありがとうございました。妻 小宮真理

路線乗り継いで通っています。それなりに大変な日々ですが、京浜東北線に乗り換えると西高時代を思い出し、懐かしくもあります。

小林成信(昭和51年卒) 世田谷区

在カルガリー総領事として赴任以来2年が経過します。国際情勢が動く中、西高関係者の海外での安全、御発展をカナダより祈念致します。

鳥羽(吉澤)恵(昭和53年卒) さいたま市

二〇一九年統一地方選挙で市会議員になりました。会派はちがいますが、西高同級生もおります。彼女は三期目のベテランです。それにしても選挙は疲れる…

桃井雅史(昭和59年卒) 新発田市

あいかわらず新潟で教員やっています。ところで西高時代の部活仲間でラインをしています。文芸部のみんな、乞連絡。(サクラ、テクちゃん、本間、太さん：等)

尾中(竹田)美紀(昭和63年卒) 川崎市

総会に初出席。恩師の方々とのお話も弾み、変わらなく連絡下さる西麗会に感謝同感。西高の良さが分らなかった3年間は取り戻せませんが、西高を愛しています。(^^)

年目となりました。毎日子供たちの声をききながら仕事に勤めています。

佐藤裕和(平成8年卒) 鴻巣市

平成二十九年度に西高で勤務されていた石田先生とともに熊谷農業高校で奮闘しています。

茂呂真里絵(平成18年卒) 荒川区

仕事中心の生活ですが、いまだに西高仲間は活発なので、たまに会うととても刺激になります!!

右島(新井)清香(平成19年卒) 船橋市

先日、女子サッカー部の練習にお邪魔しました。すっかりサッカー強豪校になっており驚きました。今後の活躍も楽しみです。前顧問の酒井先生お疲れ様でした。

片岡桃佑(平成19年卒) さいたま市

住所変更を機に、近況報告です。平成30年2月に西高の同級生と結婚しました。また夫婦揃って西高を訪れたいと思います。



▲吉住先生の記念授業に聞き入る生徒たち



▲吉住先生に花束贈呈

馬場則雄(平成元年卒) さいたま市

只今、馬場ふとん店建替の為閉店セール真最中です。とても忙しく又、寂しく、そしてワクワク。西麗会報が届く頃は新店舗で頑張っているはず?!いつも楽しく読ませてもらっています。

橋本正法(平成12年卒)

八潮市

① 駅チャリで、毎日登った遅刻坂、今無き桜の面影心に。
② 空腹で、授業サボって買いに行く、果林の唐揚げたまに半生。

吉田真弓(平成16年卒)

さいたま市

平成二十九年七月末に約十年勤めた「シユークルダール洋菓子店」が閉店致しました。ご愛顧ありがとうございました。

高橋 臣(昭和60年卒) ふじみ野市

久しぶりに西麗会に出席しました。OBの方々、先生方といろいろ話を伺い、一日だけ「西高生」になったひとときでした。少額ですが寄付させていただきました。

原口恭彦(昭和61年卒) 小平市

昨年より広島大学から東京経済大学に異動しました。

伊藤(野口)久美子(平成5年卒)さいたま市

実父とさいたま市に医院を開業して早2



▲総会後の集合写真

新連載

西高通り



今むかし



JR与野駅と西高との間、約1.7kmをほぼ直線で結ぶ西高通り。正式な名称は「県道120号線」、通称「上木崎与野停車場線」。多くの西高生が朝な夕なにお世話になりました。

沿道の店や住宅も時の移ろいとともに少しずつ姿を変え、気がつくとなじみの店がいつの間にかなくなっていて寂しくなったりもします。今回はプロログとして大きな変化があったところを中心にハイライトで取り上げます。

東口駅前広場から

中山道へ

与野駅周辺の再開発で西口は大きく変貌しましたが、東口はチェーンの中華料理店やコーヒー店ができたくらいで、駅前広場の構造は全く変わりがありません。

中山道の交差点には大ケヤキがそびえていましたが、寄る年波には勝てず、2011年5月に伐採されました。(会報36号にて既報)

そのときに制作されたケヤキのモ

ニュメントが与野駅のコンコースと浦和西高校のエントランスに保存されています。

大原中学校跡地が

子ども家庭総合センターに

中山道のスクランブル交差点を渡り、しばらく行くと右手に立派な建物が見えてきます。2018年にフルオープンした「さいたま市子ども家庭総合センター(愛称・あいばれっと)」です。ここには各種相談窓口があるほか、中

高生活動スペース、ダンススタジオにバンドスタジオまであり、まさに西高生のために作られたかのような施設です。以前はここに大原中学校がありました。1983年に西高の北側に移転した後、旧校舎は埋蔵文化財の保管所として利用されていました。

その時、桜の木に囲まれた校庭はそのまま「大原暫定グラウンド」として残され、地域の人々の憩いの場所とし



▲新装なった「子ども家庭総合センター」

て、また体育祭の前などは「連ダン」(ダンス)の練習場所としても使わせていただいています。

岡野砒油取り壊される

産業道路の交差点にあったガソリンスタンド「岡野砒油」が2019年9月末日をもって営業を終了し、その後取り壊されました。登校時にこの交差点で赤信号に引っかかり、遅刻を気にしながらこの「岡野砒油」の前で信号待ちをしました。

「レギュラー〇〇円」と大きく書かれた看板は中東情勢や円高・円安といった為替相場を敏感に反映して毎週書き換えられました。高校生なのでここで



▲レギュラー 93円! (1997年5月)

給油したことはありませんでしたが、この看板が世界経済の窓になっていたような気がします。

▼最後はリッター 139 円でした



▲取り壊された岡野砥油 (2019年11月)

中華料理店「一福」閉店

産業道路を渡り、生協の手前であった中華料理店「一福」が閉店し、2019年に取り壊されてあつという間に住宅になりました。

この店は浦和レッズの練習場が近いことから関係者も立ち寄り、店内には小野伸二選手らのサイン色紙が飾られていました。

職員室でも昼の出前でお世話になりました。数が少ないときでもころよく受けてくれて、ご主人が笑顔とともに届けられる料理は飽きのこない、懐かしい味でした。

釣り堀「憩」は変わらず

「一福」と生協の間には一時期コンビニ「ファミリーマート」があり、西高



▲フィッシングハウス憩



▲ファミリーマートがあったころ (2004年3月)

生も多く利用していましたが、20年ほど前に閉店しました。そのあとにはなんと「フィッシングハウス」ができました。こんな住宅地では客が入るのは日曜くらいだろう、と思っていたら、平日でもけっこう客が入っています。浦和の人は釣りが好きなのでしょう。



▲ペットタウンは閉店

「ペットタウン」閉店

生協の坂を下って西高のグラウンドが見えてくるころ、左手に「ペットタウン 与野店」がありました。このほど閉店しました。

この建物は大昔(40年位前?)は生協の店舗として営業していたものです。生協は坂の中ほどに移転し、その名も「コープみらい 上木崎店」となりました。



毎朝遅刻ギリギリで走って通った人、友人ととりとめの話しながら夕日に向かって歩いた人。あなたは西高通りにどんな思い出があるでしょうか。

次号より駅前広場に戻り、中山道、産業道路の交差点を通り過ぎ、木崎の坂を下って左折、日幸堂、西高うどんや果林まで歩きます。途中、西高通りを外れて足立神社などにも寄り道します。「ロマンスロード」とか「アベック通り」などと呼ばれる一本北側の裏道もたどってみます。

西高正門にたどり着くまで何年かかることでしょうか。思い出の店、場所など各年代からの情報を寄せてください。写真もお待ちしています。

(小林)



二〇一九年度

寄付者のお名前

(敬称略)

西麗会への寄付のお願い

西麗会の活動は、卒業生が入会する際の終身会費と、皆様からのご寄付によって支えられております。

毎年、多くの方からご寄付をいただいておりますが、平成30年度の寄付額は約155万円と、前年度から約20万円減少しており、全体の決算も単年度では赤字収支となっております。

今後も、全会員の皆様への会報発送を継続するとともに、西麗会の活動を安定的に実施するため、金額にかかわらず、一人でも多くの会員の皆様からのご寄付を賜りますようお願い申し上げます。

昭和30年卒(7回)

小林茂水 貫井博之
橋本充子 鈴木正明
原惠行 山田勝弘

昭和36年卒(13回)

中川明紀子 長山明子
興水敏男 秋山喜代子
岡本須和子 小林茂
高橋司全 青山明子
海老原稔 宮崎通泰
齋藤庸夫 島宗俊郎
高橋千劍破 豊島義明
林野宏

昭和41年卒(18回)

諸星喜男 服部光之
山本鍾互 中根茂代
中村邦子 和田隆雄
金子揚子 高田博子
富田輝子

昭和44年卒(21回)

安藤昭 奥山清志
外山雅一 大谷達夫
齋藤芳昭 古館勲
小島ゆき子 村田房子
諸星啓子 石井均
丸山紀子 池亀利恵子
小宮英夫 榊原啓子
新井三津恵 田中貴代子
小倉清貴

昭和31年卒(8回)

新井英一 田中利幸
松本晃 山根祥二
栗本東子 冷水俊朗
荒井利尚

昭和37年卒(14回)

印南協子 藤田静子
福島眞砂代 林聡慧
善林彬人 細川早代子
細田勝彦 藤井克己
吉岡信二

昭和42年卒(19回)

稲垣昇 久保田洋子
新井真佐江 伊藤きみ子
末安ゆう子 丸山宮子
阿部輝雄 甲斐佳晶
上倉功 齊藤勉
榎本信子 河合のり子
佐竹恵津子 西村真佐代
松本知歌子 川崎由紀子
松本登美子 吉沢一男
松本登美子 齊藤憲一
佐藤良雄 長久保洋二

昭和46年卒(23回)

澤井敏夫 石松千春
船津徳英 武藤智江
今成博茂 林則彦
浅見敏雄

昭和32年卒(9回)

今井忠 門本ヨリ子
小林久江 高木二郎
立川武司 府川代四男

昭和38年卒(15回)

石川陽子 入澤洋子
渋谷正雄 木戸晃
山下忠臣

昭和43年卒(20回)

阿部康夫 池辺優
岡本孝夫 山岸勉
永田喜雄 西村富夫
安楽真知子 片柳夏代
日下淑子 三谷真弓
板野敏子 木村美代子
本間葉子 八木純子

昭和45年卒(22回)

佐藤淳子 吉田和枝
島崎富夫 大類由美子
堀田美枝子 和田和子
綿貫保子 島茂美
島泰子 永井隆史
工藤英治 陳野敏弘
阿部博之 新井康俊
金子弘 塚原重和
吉田伸 井原誠吉

昭和14年卒(旧2回)

鎌木美恵子

昭和24年卒(旧12回)

天野美子

昭和33年卒(10回)

豊島泰之 水野興二
古畑喜美子 七澤敏子
迫田義憲 竹ノ谷光美
成田誠 町田利之
本庄久子

昭和39年卒(16回)

鈴木由美子 那須雅江
山田菜穂子 青柳信子
村井公子 根本明德
那須弘美 守川黎子
小寺秀仁 佐野和義
山田康博 石井延久
宇治田進 内山一郎
金子芳雄 後藤鉄四郎
富永正敏 永田裕
村井勝美 大城戸一彦
佐藤誠造 山田信彦

昭和47年卒(24回)

福井一夫 堀富雄
宇田川成子 岩城真幸
塩見幸子 野口万里子
今岡章夫 志水茂
海老瀬洋子 細田陽子
酒井久之 白石哲郎

昭和16年卒(旧4回)

月野喜美子

昭和25年卒(2回)

鈴木和子 宮田仁子

昭和34年卒(11回)

小川紀夫 清山和男
宮崎伊都子 高橋幸雄
堀野忠夫 中枝和子
野々垣芳枝 三林芳子
袖山寶右 川畑啓子
粕谷徳元 齋藤数昭
井川征郎 吉田維夫

昭和40年卒(17回)

山田孝子 齊藤千和
金子哲夫 宮木俊孝

昭和44年卒(21回)

横山千津恵 磯田喜美子
千谷一郎 片岡素子
山下和子

昭和18年卒(旧6回)

脇屋容子

昭和26年卒(3回)

小川君子 岡田幸子
粕川初枝 森川靖子

昭和35年卒(12回)

竹ノ谷裕子 中村竹子
岸信介 高橋照司
高橋恵美子 高橋正臣
三須哲男 八木正
吉田寿雄 吉村克昌

昭和42年卒(19回)

阿部博之 新井康俊
金子弘 塚原重和
吉田伸 井原誠吉

昭和46年卒(23回)

澤井敏夫 石松千春
船津徳英 武藤智江
今成博茂 林則彦
浅見敏雄

昭和19年卒(旧7回)

井上昭子 小熊則子
清水和子

昭和27年卒(4回)

井原幸子 鶴澤美夜
梅田亮子 友野操

昭和36年卒(13回)

川畑啓子 川畑啓子
齋藤数昭 齋藤数昭
吉田維夫

昭和40年卒(17回)

山田孝子 齊藤千和
金子哲夫 宮木俊孝

昭和44年卒(21回)

横山千津恵 磯田喜美子
千谷一郎 片岡素子
山下和子

昭和20年卒(旧8回)

石川佐和子 杉山幸子

昭和28年卒(5回)

五十嵐一夫 大川長信
長島千和

昭和35年卒(12回)

竹ノ谷裕子 中村竹子
岸信介 高橋照司
高橋恵美子 高橋正臣
三須哲男 八木正
吉田寿雄 吉村克昌

昭和40年卒(17回)

山田孝子 齊藤千和
金子哲夫 宮木俊孝

昭和44年卒(21回)

横山千津恵 磯田喜美子
千谷一郎 片岡素子
山下和子

昭和23年卒(旧11回)

新井やよい 江原喜久子
岡本明子 北村富士江
花井喜久江

昭和29年卒(6回)

福島洋二 柴多稔
大谷康代 西口和子

昭和35年卒(12回)

竹ノ谷裕子 中村竹子
岸信介 高橋照司
高橋恵美子 高橋正臣
三須哲男 八木正
吉田寿雄 吉村克昌

昭和40年卒(17回)

山田孝子 齊藤千和
金子哲夫 宮木俊孝

昭和44年卒(21回)

横山千津恵 磯田喜美子
千谷一郎 片岡素子
山下和子

高沢正樹 松澤静男
 兼良子 加藤輝男
 竹下敬 林明美
 福田定男 間山和幸
 高橋理恵子 服部より子
 小谷野博史 柳沢啓二
 津田和子

昭和48年卒(25回)

安藤裕子 今井敏明
 高橋厚夫 加藤政江
 高橋律子 野口佳代子
 橋本友美子 荒川薫雄
 川上行生 鈴木芳夫
 新井準一 松岡毅
 工藤美智子 須崎弘
 吉倉康晴

昭和49年卒(26回)

高橋秀樹 成田寛
 藤倉陽子 武井隆一
 加藤えみ子 島内則子
 佐藤美津子

昭和50年卒(27回)

小島健一 岩田由美子
 道下敦子 栗原宏夫
 富樫正紀 竹内斎
 江口克己 青山篤
 夏堀操 大崎栄一
 後上真一 河村郷子
 齊藤登 豊田勉
 長澤実

昭和51年卒(28回)

星野彰男 池田啓一
 黒須仁 伊藤京子
 近藤晴代 大迫義谷
 酢崎利夫 石川理恵

昭和52年卒(29回)

早乙女宣明 石川都美
 岡田祐子 稲葉博
 亀山浩一 浅見哲哉
 星葉子 浅見宗徳
 山路敦

昭和53年卒(30回)

荒井正明 河野正
 後藤美子 武藤英子
 内田圭子 小田郁子
 鳥羽恵 渡部智博
 赤羽明宏 阿野清治
 和田哲也

昭和54年卒(31回)

中村裕一 富田由賀子
 渡辺紀子 小見恵一
 山田誠一 小林功
 郷由美子 泉名泰之
 中川幸男 桐永香百里

昭和55年卒(32回)

松本和幸 吉田浩子
 信沢雅志 杉山利行
 杉井美佐子 福田真穂子
 大澤浩司 根本みどり
 萩原万里 小野裕子
 今原真理子 平井順子
 田口久徳 高橋かほる

昭和56年卒(33回)

千田寛 戸田仁
 近藤久美子 宇和野真由美
 吉岡典子 吉田新一
 山崎智与里 中村敬子
 黒沢豊 宝寺浩

昭和57年卒(34回)

中野則子 福島久美子
 吉田浩之 山崎正一
 小橋和則 山下研二
 追立真由美 平井敦子
 中山晴喜

昭和58年卒(35回)

久保村康史 佐藤真澄
 根岸栄子 山根裕子
 中村克巳

昭和59年卒(36回)

相沢浩幸 正田淳
 初田千秋 濱野広悦
 松井克彦 中西博子
 伊藤育子 三野裕之
 渡邉ルミ

昭和60年卒(37回)

高橋臣 山中英実
 玄間千秋 間瀬功一
 吉井和子 加藤美和
 笠井千奈美 青木香
 大熊康典 仙澤隆
 増田恵子 山田照子

昭和61年卒(38回)

信田照幸 皆川正
 長谷川友孝 大沼孝明
 相沢喜一郎 大富直輝
 平野陽子 菅間智義
 小出早知恵

昭和62年卒(39回)

鈴木成子 島村明美
 岩井良太 市野陽子

昭和63年卒(40回)

奥山信男 島田貴子
 吉川さゆり

平成元年卒(41回)

深澤隆弘 笹本紀子
 楠瀬久美子

平成2年卒(42回)

松永智子 森切瑞恵
 北原路子 奥山真理
 俵 知之

平成3年卒(43回)

森泉和宏 新井均
 大西徹 小池英子
 梅澤正尚 橋本雅子
 本間幸信

平成4年卒(44回)

竹内大介 鈴木絵里子
 佐藤貴史 実藤雅史
 岩本和久 澤田尚美

平成5年卒(45回)

岩本和久 澤田尚美

平成6年卒(46回)

岩本和久 澤田尚美

平成7年卒(47回)

市原雄心 松田裕太郎
 三善隆弘
 片岡桃佑

平成9年卒(49回)

大塚信之介 宮代孝洋

平成10年卒(50回)

井上嘉美 片岡浩一
 前田英子

平成12年卒(52回)

野口渡 海老原朱里
 田中啓介 京極弘子
 宗文子 橋本正法

平成13年卒(53回)

島山真澄 宮中智洋
 原田尚仁 市村里紗

平成14年卒(54回)

有馬元明 榎本淳

平成15年卒(55回)

諸星奈津子 榊愛郎
 鈴木絵里子

平成16年卒(56回)

坂西野風子 加藤まみ

平成18年卒(58回)

黒米敏弘

平成19年卒(59回)

松田裕太郎

平成20年卒(60回)

宮代孝洋

平成21年卒(61回)

松田巴

平成24年卒(64回)

大崎友理華

平成25年卒(65回)

若林碧

平成26年卒(66回)

吉岡希光

平成30年卒(70回)

森切遥海

旧職員

藤井くに江先生

個人

ヨシダ カノウ

団体

昭和43年卒古希の会一同
 菅弦楽部

寄付には ATM もご利用ください

いつも尊いご寄付をありがとうございます。同封の振込用紙を利用されると、寄付1件あたり窓口利用は203円、ATM利用は152円を西麗会が負担しています。ご面倒ですが、できるだけATMのご利用をお願いします。

あの先生は今



令和元年五月二十六日に開催の西麗会
総会の案内状にご回答いただいた先生方
の返信を掲載いたします。

ていただいています。

●小林 功 (国・司) さいたま市

いつも「あの友この友」に近況を投稿してくださる馬場さん、「馬場寝具店」新装開店おめでとうございます。新聞の折り込み広告を読みました。親子三代の波乱万丈の歴史はドラマのようでした。ますますのご発展をお祈りしています。

●菅原鉄也 (国語) さいたま市

蓮田松韻高校で、お世話になってます。大手予備校の大学入学前小論文添削指導を行っています。中には舌を巻くようなすばらしい論文に出会うこともあり、「後生、畏るべし」を実感しています。

●鈴木紀雄 (理科・物理) さいたま市

八年間、お世話になった鈴木です。再任用で浦和東高校にて勤務しています。生徒も実にまじめ、教員集団も風通し良く、楽しみつつ働いています。

●中村 清 (国語) さいたま市

雑用に追われて気忙しい日々を送っております。趣味の野鳥観察も滞りがちな昨今です。

●中村正美 (英語) 川越市

ある日の授業中、「先生、有名人だね」と言われ、何かの間違いだと思いましたが。男子の差し出したPPT(アイパッド)の画面に2014年の私の記念授業が映っていました。西麗会のホームページでした。皆様に関心感謝しました。

●藤 和弘 (英語) さいたま市

七十九才になりました。囲碁・将棋・体操・ゴルフなど頭と体を使い、元気に過ごしております。

●堀口幸夫 (社会) 吉見町

昭和の終わりの頃の教頭です。その頃は浦西の外、服装・髪型の自由な県立高はなく、本当にのびのびとした、然も相当な進学校でした。西高の活躍を祈念します。

●丸山光夫 (数学) 鴻巣市

会報大変懐かしくよませていただきました。速くも十年のリタイヤ生活が過ぎました。総会並びに西麗会のご盛会をお祈りいたしております。

●森本恵美子 (国語) さいたま市

膝関節症で通院中ですが、旅行を楽しんでいます。京都の護王神社(和氣清麻呂が祀られている)は足の病気に御利益があると聞き先日お参り

してきました。

●山口畑一 (社会) さいたま市

昭和御大礼の悠紀齋田の奉耕手風俗を表現した悠紀人形の研究を大嘗祭の今年発表するが、これは彫刻家森大造の指導で醒井木工組合の職人が作った農民美術品である。

●山本康義 (国語) さいたま市

西高でお世話になった音楽科の米原豊先生が指揮者を務められている三郷第九演奏会に三郷工業技術高校の合唱部が参加させていただき、西高のご縁を感じています。

●和田幸男 (地理) 鳩山町

役員が一新され、平成最終号の会報43号を手にして昭和50年当時を思い出しています。時代の変化は大きく、流れは早くただ驚くばかりです。理不尽な事件、事故が多く心を痛めている日々です。

訃報

篠田 康義先生 (英語) さいたま市

平成三十年十一月四日に永眠いたしました。生前のご厚誼に感謝申し上げます。

ご家族より

●小野岳生 (理科) さいたま市
せっかくの香織先生の授業、欠席で申し訳ありません。年齢の殆ど変わらない教え子と呼ばれる同窓会では、元気をもらっています。ボケをツッコまれながら、まだ高校生に相手し

●小川 均 (理科) さいたま市
退職前にプリウスを購入。昨年廃車。三五万六千キロを走破しました。全国津々浦々。でも地方都市の衰退を知る旅でもあり。地酒を買うのがやっとでした。

●岡沢静子 (国語) 川口市
吉住先生にはお目にかかりたいのですが、長野にいるため欠席致します。

●荒井 桂 (社会) 東松山市
84歳になるうとしています。お蔭様で一応元氣、郷学研修所安岡正篤記念館に勤め、『小学』の講読を手伝っています。呆け防止のため、本も書いたりしています。



- 女子バスケットボール部はウィンターカップ埼玉県予選で3位になりました。
- 女子サッカー部は選手権大会で6位になりました。
- テニス部は国公立大会埼玉予選にて女子団体県6位になりました。県新人戦大会にて県大会に出場しました。
- 男子サッカー部はインターハイ予選で県ベスト16になりました。
- 男子バスケットボール部は夏季南部支部大会でベスト16になりました。
- 新井里美さん(平成11年卒)は、文化祭開催日である令和元年9月8日、50周年記念館にて、PTA主催の文化講演会として「声優新井里美講演会」って、そんなにスゴイことはお話しできませんが」と題する講演を行いました。同講演では声優という職業の魅力について、放送部・図書館・文化祭など本学在校当時の思い出、本学を卒業してから現在までの道のりといった内容の講演に加え、聴講生参加型の企画として声優体験とそれに対する新井さんからの演技指導も行われました。

○未来の種

本会員で2000年卒業の航空自衛官2等空佐(中佐)の田中啓介さんが2019年11月1日に1年生進路行事の「未来の種」において「平和を仕事にする」15の君に贈る言葉」と言う演題で講演を行いました。

西高しか行きたくなかった中学時代から早稲田大学法学部で国際関係法を学び人の役に立ちたい、専門を活かしたい、国際的な仕事がしたいの思いから自衛隊幹部候補生という選択をしたこと。階級社会の中で指揮官として部隊を統率して様々な計画の立案したこと。省外の人や命を預け合う部下たちとの熱い人間関係について話されました。

自分の長所短所を知り、今すぐやりたい事を決めなくても良い、経験を積んで選択肢を増やしながら将来の事を考えて欲しい。外務省出向時の経験から空の安全保障を海外へ伝えるにはやはり日本語ではなく英語だと思っただと凛々しい制服姿で熱く語ってくれました。(事業部)



○理事研修旅行

2019年11月16日(土)に西麗会理事研修旅行が2年ぶりに催行されました。天気も快晴!素晴らしい研修日和となりました。今回は9名の参加で横須賀方面へ向かいました。まずは三笠棧橋から船に乗り猿島へ。

ここはかつての日本海軍の明治からの要塞が残っていてボランティアガイドによる説明付きの見学ツアーに参加しました。お昼はポトマーケットにて横須賀海軍カレー等を堪能。その後は定番の戦艦三笠見学と最後にフランス人技師ヴェルニー記念館で製鉄について学び帰途につきました。(事業部)



管弦楽部
第27回定期演奏会

2020年5月5日 火
15:00 開場
15:30 開演

彩の国さいたま芸術劇場
音楽ホール (入場無料)

○本会員で映画監督の太田信吾さん(平成16年卒)が監督・出演した長編映画『解放区』が2019年に公開され、今年も各地を巡回する予定です。浦和界隈でのロケや、浦和西高校出身者の音楽参加も話題です。

お世話になった先生方

令和元年度人事異動
(敬称略)

校長	高野 能弘	久喜特別支援学校
参与	内田 孝	教育局・生徒指導課
国語	岡 まゆり	鷲宮高等学校
日本史	皆川 雄二	岩槻高等学校
日本史	金子 秀人	杉戸高等学校
数学	花井 紀任	幸手桜高等学校
物理学	鈴木 紀雄	浦和東高等学校
化学	酒井 昌弘	和光高等学校
英語	川畑 秀樹	大宮東高等学校
英語	落合 弘樹	総合教育センター
英語	白倉 真澄	大宮武蔵野高等学校
数学	坂手あゆみ	羽生第一高等学校
事務	北田龍市郎	退職
事務	松本 彩美	上尾橘高等学校
業務	山野井康具	ふじみ野高等学校
業務	影山 文恵	南陵高等学校

同窓会だより

今日だけ高校生

古希の会

秋山 勝(昭和43年卒)

去る11月30日に、昭和43年卒(第20回)古希同窓会を開催しました。

当日は114名の、遠くは愛媛から同期が集まり、久しぶりに逢う面々に会場は大盛り上がりでした。

写真にあるとおり、会場いっぱい参加者でフレームに納まりきれない状態、一部の皆様には残念な写真となりました。

会は2部方式の形をとり、1部は西高最近のトピックス、遠方参加者による面白話などのスピーチに始まり、ジャンケン大会、『僕たち私たちはこんなことやってます』の案内と参加者募集、3年次2年次1年次への席替えを行い、気分はすっかり【BACK TO THE 西高時代】あの頃気になっていたあの娘、素敵だったあの人も気楽に会話を楽しめた様子。

1部の最後は合唱部のリードによる校歌斉唱で締め括りました。

2部(二次会)は休憩を挟んでそのまま同会場にて開催。カラオケを楽しみながら、フリーに歓談、あっちに行ったりこっちに呼ばれたりアルコールもまわって一同上機嫌(笑)

最後は肩を組んで「高校三年生」を

合唱してお開きとなり、その後は気の合う仲間とそれぞれ三次会の自主開催へと散っていきました。



西高入學40年記念同窓会

吉田 浩之(昭和57年卒)

昭和57年卒業の同窓会を令和元年11月23日に浦和ワシントンホテルで開催しました。8年前の卒業30年の年に1

回目の同窓会を開催して(以後4年ごと)、3回目の今回は西高へ入学してから40年の記念の年。齢を重ね容姿は変わってしまいましたが、会が始まると気持ちは瞬く間に在学中へタイムスリップ…。

参加者は前回より減ってしまいましたが、参加者同士が話をする事ができ、アットホームな雰囲気で盛り上がりました。私も在学中には面識がなくて今初めて話をした同級生もいましたが、まるで在学中からの知り合いのよう…。同じ時に在学していたというだけですぐに友達になれる西高仲間の素晴らしさを改めて認識しました。

恩師の藤和弘先生、中村正美先生も参加してください、在学中の思い出話にも花が咲きました。会の中で正美先生が挨拶中に参加者に質問をされましたが、先生が何の前触れもなく私を指された時にはヒヤッとして、既に髪の毛は白いのに頭の中まで真っ白になり、在学中の授業のシーンが蘇りました。

会での盛り上がりは2時間では収まらず、多数の仲間が二次会へ。今回の開催は私達が還暦を迎える令和5年、盛大な会になればと思っています。同級生、恩師の先生方が健康を維持され、笑顔で再会できることを楽しみにしています。

(幹事) 追立真由美 北脇賢治

福島久美子 吉田浩之

柔道部OB会

野口 勇(OB会会長 昭和36年卒)

平成31年3月9日「川口リリア銀座アスター」で浦和西高校柔道部OB会を開催しました。

昭和の時代から平成、5月には令和という新しい時代を迎える長い時代を経て、残念ながら名簿に逝去の文字も





多くなりりましたが、昭和30年から昭和41年までの柔道仲間が11名参加出来ました。

昭和の時代には汗にまみれ柔道に励んだ青春時代も今は70歳代80歳代となり、思い出話に盛り上がり一瞬とはいえ時間を昭和に戻すことが出来ました。

昨年は都合付かず中止になり2年振りでしたが来年からも定期的に開催することになりました。

参加者名(敬称略)

30年卒大室安太郎 31年秋山義男
32年丹羽五 33年石橋直生
34年高橋幸雄 36年野口勇



37年白鳥進 制野周弘 川又忠明
八木正武 41年神田敏男

初代ギター部集う

杉村 長世 (昭和42年卒)

令和元年10月6日、川口市「ライブスペース キャバリーノ」で浦和西高「初代ギター部」同窓会が行われました。ギター愛好会を、現在ある生徒会公認「ギター部」にしたのがこのメンバーです(1965〜6年)。

この写真の中に、知る人ぞ知る、山口百恵ラストコンサート「The Vintage」や中尾ミエ専属バンド「The Vintage」



orchリーダーなど名ミュージシャンがいます。

挑戦し続け、征服し続け、挑戦し続け、……生涯現役西高ギター部です。私たち、死んでもギターを離しませんので。

放送部(NBC)OB会

植田 高史(平成10年卒)

令和元年8月3日(土)浦和西高校50周年記念館及び放送部室にて、現役部員と合同の放送部OB会が開かれました。

現役による活動報告やOBによる近況報告など、懐かしの活動場所にて充

同窓会予告

昭和63年(1988年)第40回卒業生 学年同窓会

【日時】2020年11月21日(土)午後

【場所】浦和近辺(未定)

50歳にもなったし、東京オリンピック開催の記念の年に集まりますか。

現在、案内状送付のための住所確認を行っています。8月頃に葉書で正式な案内をお送りします。HPも立ち上げURLを葉書に記載する予定です。

【発起人】1組加藤、2組原賀、4組稲葉、安生、羽島、5組紅谷、6組森岡、7組篠原、9組広田、10組森畑、黒岩(女子は旧姓)

実した時間を過ごしました。

放送部OB会では、OB会開催等のお知らせを確実に伝えすべく、OB会名簿「cross fade」の再整備に取り組んでいます。

最近OB会の知らせが届いていないな、とお感じの方は、お手数をおかけしますが、nbc.crossfade@gmail.com(放送部OB会)までご連絡下さい。

5月24日(日) 母校で会いましょう

～西麗会総会のご案内～

日 時 2020年5月24日(日)
 10:30 総会開会
 11:30 記念授業
 12:40 懇親パーティー
 14:30 閉会予定

会 場 浦和西高50周年記念館

事前の申し込みは不要です。誘いあってお出かけください。



▲ 昨年の総会風景



▲ 懇親パーティー

今年の総会の記念授業は地理の吉住知文先生

「考える地理」



吉住知文先生は京都府立西舞鶴高校から東京大学理科I類に入学されましたが、哲学を勉強したいとの強い思いから文系の教育学部に転部されました。ご卒業後、

大手広告代理店に就職。ご自身の信念に従い3年で退社され、欧州からアジア・アフリカの6か月に及ぶ海外調査を経て昭和50年に浦和西高校で教員生活をスタートされました。

西高では主に地理を担当されました。そしてラゲビー部、山岳部の顧問や生徒会で生徒指導に取り組みされました。さらに、西高で最愛の奥様となる吉住香織先生と出会うこととなります。その後、新設校、通信制高校等を経て、大学講師・教授となり平成30年3月まで教鞭を取られました。その間平成24年度は、オクスフォード大学大学院で客員研究員として「インドの森林政策」を研究されています。

西高生は高度な内容にも付いて来られる位すごく優秀で、精神的に大人で雰囲気も議論をよくしていた自分の高校時代とびったり同じだったと嬉しそうに語ってくれました。

「考える地理」は、「覚える授業」から「学び取る授業」に移行した実践の場となります。地理学だけではなく、教育に興味がある皆さんも、吉住先生の教育マジックに触れに母校に来ませんか！

編集後記

電子メディアの普及が進み、旧来の印刷物のことを「紙の本」、「紙の新聞」などということがあります。では、この「西麗会会報」はどうなるのでしょうか。

将来的には電子化され、会員のメールアドレスに送信されるようになるのは間違いありません。その際のはもつと速報性が高まり、インタラクティブ(双方向)化されるなどメリットもあると思いますが、長年「紙の会報」に親しんだ身にはさびしく感じます。現在の「紙の会報」でも、同封のはがきを使えば「インタラクティブ」な会報が実現します。ひとりでも多くの会員からのひとことをお待ちしています。(小林)

広報部

- 小林 功・今井登志樹
- 杉村 長世・本間 葉子
- 堀田美枝子・岩本 和久
- 片岡 浩一・植田 高史

編集・発行 西麗会

発行人 大熊幸雄

〒330-0042
 埼玉県さいたま市浦和区木崎3-1-1
 FAX 048(830)1117
 西麗会メールアドレス
 info@seireikai.org
 西麗会ホームページ
 http://www.seireikai.org/index.htm